

LINE NEWSが選ぶ、2020年を彩った“話題の人”を発表！ 横浜流星さん、瑛人さん、HIKAKINさん、内田篤人さん、鈴木おさむさんが受賞

2020.12.16 メディア関連サービス

年に1度のニュースの祭典「LINE NEWS AWARDS 2020」を初のオンライン開催！

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、芸能・文化・スポーツ・アーティストなど、各分野でNEWSになった2020年を彩る「話題の人」や、新しい切り口や見せ方でLINEユーザーの心を動かした「記事」、LINEユーザーに支持された「メディア」を、当社が運営するスマートフォンニュースサービス「LINE NEWS」が独自の基準で選出・表彰する、ニュースの祭典LINE NEWS Presents「NEWS AWARDS 2020」を本日開催し、同アワードにおける「話題の人」5部門5名の受賞者を発表いたしましたので、お知らせいたします。

■2020年を彩った「話題の人」は、横浜流星さん、瑛人さん、HIKAKINさん、内田篤人さん、鈴木おさむさん

「話題の人」では、LINE NEWSにおける記事掲出数・前年との注目度の変化・PV数などをもとに、LINE NEWSが独自に選出した「アイドル・アーティスト」「アスリート」「タレント」「俳優」「文化人」の5部門29組がノミネートされ、各部門1組の受賞者を発表いたしました。

LINE NEWS Presents NEWS AWARDS 2020

話題の人

LINE NEWSにおける記事掲出数・前年との注目度の変化・PV数などを基に、LINE NEWSが独自に選出した「アイドル・アーティスト部門」「アスリート部門」「タレント部門」「俳優部門」「文化人部門」の5部門29組のノミネートの中から、各部門で最もLINE NEWS上での話題をさらった1組を表彰いたします。



アイドル・アーティスト部門
瑛人



アスリート部門
内田篤人



タレント部門
HIKAKIN



俳優部門
横浜流星



文化人部門
鈴木おさむ

また、コロナ禍での開催となった「LINE NEWS AWARDS 2020」は、事前収録形式での初のオンライン開催となりました。各部門の受賞者とそのファンをオンラインで繋ぎ、ファンからのメッセージや質問を直接伝え、受賞者とやりとりをするなど、“オンライン授賞式”だからこそ実現できた、新たな取り組みも実施いたしました。



授賞式の様子 オンラインで授賞式を見守るファンとの交流も

各部門受賞者の受賞理由は以下の通りです。

<アイドル・アーティスト部門：瑛人>

昨年4月にリリースした「香水」が使われた動画が今春、動画投稿サービスTikTokで多数投稿され話題に。さらにステイホーム期間とも重なり、多くのアーティストやタレントらによるカバー動画がSNS上で拡散されるなど大ヒット。ミュージックビデオの総再生回数は1億2000万回を突破、紅白歌合戦の初出場も決定した。



<アスリート部門：内田篤人>

日本代表、ドイツのブンデスリーガなどでの活躍を経て、古巣の鹿島アントラーズで今年8月に現役を引退。引退後は日本サッカー協会が新設した「ロールモデルコーチ」に任命され、U-19日本代表候補のトレーニングキャンプに指導者として参加するなど、後進の育成に力を注いでいる。第99回全国高校サッカー選手権大会の応援リーダーにも就任。



<タレント部門：HIKAKIN>

4月の緊急事態宣言発令後、小池都知事との対談動画を公開。新型コロナに関するさまざまな疑問について若者代表の立場で質問するなど、わかりやすく情報発信した。またYahoo!基金と共同で行ったコロナ医療支援募金プロジェクトには3億円超が集まるなど、幅広い世代への影響力を活かした貢献活動が話題となった。



<俳優部門：横浜流星>

ドラマ「シロでもクロでもない世界で、パンダは笑う。」「私たちはどうかしている」、映画「きみの瞳が問いかけている」で主演。繊細で色気ある演技や圧倒的なアクションシーンで多くのファンを魅了した。第43回日本アカデミー賞新人俳優賞やエランドール賞新人賞の他、第15回ソウルドラマアワードではアジアスター賞を獲得。



<文化人部門：鈴木おさむ>

歌姫・浜崎あゆみの誕生に秘められた出会いと別れを描き、田中みな実の演技なども注目されたドラマ「M 愛すべき人がいて」の脚本を手がけた。その"まるで大映ドラマ"のようなストーリー展開や演出、衝撃的なキャラクターの登場は多くの視聴者の度肝を抜き、大きな話題を呼んだ。



「LINE NEWS AWARDS 2020」特設サイト：<https://news.line.me/newsawards/2020>

※2020年12月31日までアーカイブ配信をご覧いただけます。

LINEでは、今後も様々な取り組みを通じてユーザーにとって価値のある情報接点を提供するとともに、メディア各社との連携を強化することで、コミュニケーションプラットフォームとしての更なる成長・拡大を図ってまいります。